

平成24年5月吉日

## 水雲会 フィナーレ「定期講演」例会 & パーティーのご案内

1979年に発会した水雲会は、本年4月をもって33周年（例会530回）を迎えました。参加メンバーも高齢化し、従来とは違った運営の方法を工夫していくことが求められています。

このため、33年間続けてきた「定期講演例会」を、6月開催の今回のフィナーレ例会をもって中締めとし、今後は、よきテーマによる「不定期講演会」と「サロン活動」を中心とした活動に軸足を移し、新しい形の活動を模索していきたいと思っております。

つきましては、これまでの水雲会への長いご協力に感謝申し上げ、会員相互間のお付き合いを温める“集い”を開催し、一つの節目としたいと思っておりますので ご案内いたします。

◆ 日 時 平成24年6月9日（土） 午後 5：00～8：15

（受付開始） 午後 4：40

◆ 会 場 八重洲富士屋ホテル （東京駅前 八重洲側 「八重洲ブックセンター」並び）

（会場案内図） <http://www.yaesufujiya.com/access/>

◆ スケジュール

### 講 演

午後 5：00～6：00

テーマ 『教養は運を拓く —— 生涯現役時代の知恵——』

講 師 浜松大学ビジネスデザイン学部教授

多摩大学名誉教授・客員教授 竹村之宏氏

※ 講演の事務局コメント 及び 講師プロフィール 下記

### パーティー

午後 6：15～8：15 （ビュッフェ形式による立食パーティー）

・水雲会を支えた講師や世話人のひと言

・活動中の各種サロンのリーダーのひと言 など

◆ 会 費 8,000円

◆ 参加予定人員 60～70名

◆ 参加申込 メール or FAX or 携帯電話 にてお申込下さい

別途ハガキ等で、出欠のご返事をいただいている方は不要です

【講演の事務局コメント】 高齢化社会を自立して生きるには、一人一人が早くから「生涯現役」の考え方を身につけ、社会との接点をもつ生き方のノウハウを知ることが重要だ。その生涯現役時代を生きる知恵のひとつとして、「教養」は重要な意味をもち、「運」を呼ぶことにつながっていくと講師は説く。

「生涯の学び」を目指してきた水雲会の最終定期講演例会で、今一度、教養とはなにか、なぜ教養が必要なのかを、考えてみることも大いに意義あることではないでしょうか。

【竹村之宏氏 プロフィール】1969年京都大学教育学部卒。機械メーカー勤務、九州東海大学工学部助教授、多摩大学経営情報学部教授を経て、浜松大学ビジネスデザイン学部教授、多摩大学名誉教授、客員教授も兼務。大学で、人事管理論、組織論、リーダーシップ論を論じられたら、企業・官庁において、戦略型管理者論、学習する組織論、日本型経営論などの指導・研修に多くの実績をもつ。

《主要著書》「日本型人事管理の戦略」（経営科学文献賞受賞）

「進化する日本型経営」（日本公認会計士協会賞受賞、日本労働ペンクラブ賞受賞）

「日本人の誇りと働きかた」「共同体原理の経営」「出世の王道」など 多数

水雲会事務局 世話人 大須賀敏剛 〒353-0006 志木市館 2-3-11-1402  
携帯 090-4815-2795 FAX 048-475-8899 E-mail; [suiunkai@mbg.nifty.com](mailto:suiunkai@mbg.nifty.com)  
<http://suiunkai.blue.coocan.jp>